## SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2)

						Ė	なSDGs (	17ゴー	ルと	169タ	ーゲット	〉)関連項	目	
カラ	非該	チェック項目	取組	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1 2	3 4	5 6	7	8	9	10 11	12 13	14 15	16 17
ゴリ	当	7 = 7 / 4	レベル	併せて記載してください。)	hist	3 555565 	5 Section 6 Section 1	7 Stand-Market  THE STANDARD  THE STANDARD	am I	9 55:555	(€) AIL	13 1111	15 15	16 states   17 states   18 sta
1		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	社内に相談窓口設置。 会議等でも周知して差別のない体制づくりをしている。			5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3			16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備 している	基本	就業規則及び服務規定にハラスメント禁止を明記。 また社内に相談窓口を設置。			5.1 5.2 5.5		8.5 8.8					16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	デジタルタコグラフを全車両に設置。 デジタルタコグラフのデータを元に労務管理ソフトにて労働時間 を明確に管理している。					8.5 8.8					
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現在は雇用していない。 30年までには雇用していきたい。(目標雇用率5%)	)	4.4			8.7 8.8		10.2			
5 人		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全衛生会議にて危険予知トレーニングにて教育・指導している。		3			8					
労 6 働		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	メンタルヘルスに関する体制を構築している。 また個別に相談ができるよう対策している		3								
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	多様な人材が活躍できる環境をつくる。 030年までに女性の雇用率25%、外国人労働者の雇用率 5%に引き上げる。			5.1 5.5		8.5		10.2			
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	役割に応じた教育を実施。 た業務上必要な資格は積極的に取得できるような体制づく り。		4	5.5		8	9				
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	雇用形態に関わらず原則に沿って対応。 ライバーについては職務内容に応じた運行手当を年齢、性 別、雇用形態に関係なく支給している。			5.5		8.5		10.2 10.3			
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	協会けんぽによる年二回の健康診断を実施。 【予定】協会けんぽの「健康づくりチャレンジ宣言」さらには厚生労働省の「健康経営優良法人」の認証を受ける。		3			8					
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物の管理をしりサイクルできる物はリサイクルしている。 車両点検時には廃棄物等が出るのでディーラーに点検等は 依頼している。							11.6	12.4	14.1	
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	走行距離及び給油データから温室効果ガスの排出量を把握 している。				7.3				13		
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	温室効果ガスの管理ツールを用いて排出抑制を図る。 2030年までにCO2排出ガス10%低減させる。				7.2 7.3				12.4 13.3		
14 境		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組ん でいる	基本	該当なし		3.9	6.3				11.6	12.4		
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	【予定】生物多様性への影響を考慮し影響を最小限に抑えるように努力する。			6.6						15	
16		【3 Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	地元タイヤ販売店さんと協力してトラック用タイヤの再利用に 取り組んでいる。またハイ段ボールはリサイクル業者さんへ回 収依頼している。								12.5	14.1	
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	洗車時等で無駄な水使用の無いように社内で周知している。			6.4 6.6							

		T- 40	具体的な取組 1									ット) [			15	10 1
カテ 非該 ゴリ 当	チェック項目	取組レベル	(県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	2			5 •		7 8		10	11 12			15 I	
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ【予算	定】2030年までにエコアクション21を取得する。		3.9				7			12				
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ 【予! 明記	定】ホームページの企業概要の部分へ環境保護活動を はする。									12.6	ô			
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ【予算	定】2030年までに本社営業所にて自社消費分の太陽光 を設置する。					-	7.2				13			
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ 天然	資源の利用管理を徹底して効率的な利用をする。									12.2	2 13	14	15	
	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 就業	規則及び服務規定にコンプライアンスへの取組を明記し 、贈収賄禁止を社内に周知徹底する。													16 .6.5
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 就業みを	規則及び服務規程に不正競争行為に関与しない取組 明記し社内に周知徹底する。												1	16
公正	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本【予算	定】知的財産制度を利用して管理していく。						8	.2 9						
な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本でおいます。	ナンバー、社員台帳等個人情報に関する物は鍵付きの 又はキャビネットにて適切に管理している。												1	16
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ 該当	ial												1	16
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の 防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、 共に取り組んでいる	チャレンジ 取引的に	先の情報を事前に調査及び訪問して人権侵害等倫理 適切に取り組んでいるかの調査を実施している。				5		5	3	10	12	13	14	15 1	16 17
	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本して	ウアセスメントを実施し運送時に起こるリスクを社員に周知いる、また放射線物質等危険品の輸送時においてはイエカードを携行させている。		3.9							12.4	1			
製品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本様々	的に得意先を訪問してクレームの有無を確認している。 な荷物に対応できるよう車両購入時に車両架装を施す こしている。							9						
サ ー ビ ス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ 択し	i購入時に日野自動車さんの環境に配慮された車両を選 ている。 車 ខ働時のアイドリングの削減。					6				12	13	14	15	
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ 該当	iなし 1	2	3	4	5	6	7 8	3 9	10	11 12	13	14	15 1	16 17

						Ė	EなSD	Gs (						関連項			
非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	1 m	2 ***	3 4	1		7	8		10 1	11 1			15 16	
32	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地元市役所及び商工会議所との連携を図り改善点の収集及 び改善に努めている。			4					9	1	11 1	12	14	15	17
地会 域貢 献·	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	災害発生時には災害協定に沿って支援物資輸送の車両の 提供に努めている。 地域の寄付及びイベントの参加も継続している。			4						1	11		14	15	17
34	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	地元事業所及び店舗等から資材などを購入している。							8	9	1	11 1	12 13			
35	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念、経営目標、企業姿勢または社員行動指針を明文 化して社内への掲載や会議等で周知している。							8	9						17
36	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	企業姿勢でコンプライアンス重視の姿勢を周知している。公 道を使用する運輸業として法定速度を遵守するよう車速をデ ジタルタコグラフにて管理している。													16	
37	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	【予定】今後社内にCSR部門の設置をする。													16	
中央	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	ステークホルダーと対話をし当社の活動がステークホルダー に及ぼす影響を把握し改善している。													16	5 17
39	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	リスクアセスメントを実施し構内での作業時及び輸送時に起こ るリスクを社員に周知している。													16	
40	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動 が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】今後社内にCSR部門の設置をする。													16	
41	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	社員すべてに社有IOSを持たせ事故及び災害時には緊急連絡が取れる体制と場所を特定できる様にしている。 【予定】今後BCPを策定する。								9	1	11	13 13.1		16	
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	後継者候補は親族及び社員内にもいる。 【予 定】継承までの計画を策定する。							8	9						17

## 上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6 7	8	9	10	11	12	13	14	15	16 17

## 【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取 り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)